

平成28年度 宮城県考古学会 総会・研究発表会

復興関係調査で拓かれた地域の歴史2

南三陸地域の中世社会—新井田館跡を中心に—



かつてない規模ですすめられている震災復興関係調査。次々に大きな成果をもたらしています。この成果を糧に、地域の歴史を新たな視点で、より豊かに描き出すことが大切です。南三陸地域の中世社会について考えます。

《 総 会 》 10:00~(会員のみ参加)

《 研究発表会 》 11:00~

○特集『復興関係調査で拓かれた地域の歴史2 南三陸地域の中世社会—新井田館跡を中心に—』

11:00~11:05 特集 趣旨説明 宮城県考古学会東日本大震災対策特別委員会

11:05~11:50 復興事業関係の成果報告「南三陸町新井田館跡の発掘調査成果」
宮城県教育委員会 村上 裕次氏

13:00~13:45 コメント1「宮城県内の城館からの新井田館跡の位置づけ」
宮城県考古学会 佐藤 信行氏

コメント2「朝日館跡からみた新井田館跡」 宮城県考古学会 田中 則和氏

コメント3「中世本吉・気仙地域の論点—歴史学の立場から—」
東北学院大学 七海 雅人氏

13:45~14:30 討論・意見交換

○研究発表

14:40~15:10 東北地方の縄文時代晩期前半における岩版の生と性 鹿又 喜隆氏

15:10~15:40 陸奥国府域における掘立柱廂付建物の特質 高橋 透氏

【懇親・交流会 開催のおしらせ】

当日お昼まで、会場にて申込ください。会場：串鳥 仙台駅西口店 17:30~ 一般：4,000円・学生 3,000円

2016.5.15(日) 11:00 START

研究発表会はどなたでも、無料で参加できます

会場：仙台市博物館ホール

※当日は、特別展開催中につき、混雑が予想されるため施設駐車場は利用できません。地下鉄東西線「国際センター駅」をご利用ください。

www.m-kouko.net

■主催 宮城県考古学会 ■共催予定 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、仙台市博物館